

令和2年5月25日



相談室からのお手紙（5月号）

愛媛県立松山中央高等学校

休校になって、ずっと自宅で過ごすという生活はどうでしたか。長い期間、外出できず誰かと直接会って話せないことがどれほど辛いものか改めて実感したのではないのでしょうか。皆さんの明るい笑顔、楽しそうな声、元気な足音が消えてしまった校内は、静かすぎて味気なく、寂しいものでした。皆さんがいるからこそ学校なのだと思います。私だけでなく、先生方も同じ思いで、皆さんが再び登校できる日を心から待っておられました。

今は、ソーシャルディスタンスを確保するために、集団で集まることは控えるようになりましたが、私はYouTubeで高校生によるマーチングパレードや体育大学の集団行動、九州新幹線開通時のCM等をよく観ます。多くの人がついて一生懸命に活動する様子、その笑顔や歓声にも嬉しく幸せな気持ちになります。人は人を求め、誰かとつながっていたいと思いながら生きているのです。

社会は変わりつつあります。私たちの価値観や生活様式も変わっていくのだろうと思います。けれど、どんな状況でも変わらず私たちの生活を支えてくれている方々がいます。医療従事者の方、日用品の販売員の方、物資の運送業者の方、ゴミ収集業者の方等。本当に感謝しなければいけませんね。私たちができることは何なのか、考えてみましょう。みんながお互いを思いやり、困った時に支え合うことのできる、優しい社会にしていきたいですね。

スクールライフアドバイザー 岡本 綾

★スクールライフアドバイザー来校予定日（12：00～18：00）

5月26日（火）・28日（木）・6月2日（火）・4日（木）・9日（火）

11日（木）・16日（火）・18日（木）・23日（火）・25日（木）

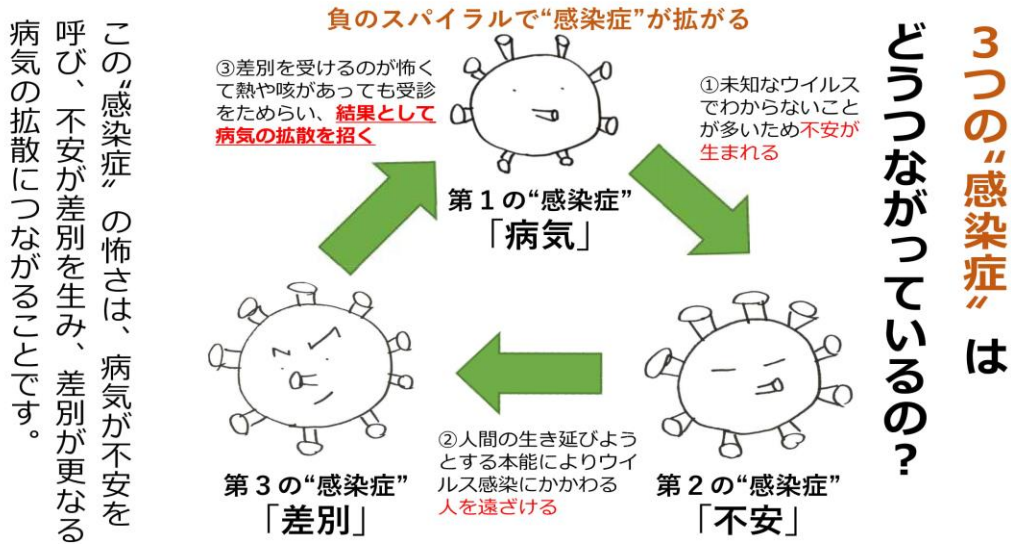
★メールアドレス

Kawamin_chuosoudansitu@school.esnet.ed.jp

★生徒の皆さんだけでなく、保護者の皆様も、気軽に利用してください。



新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！



9

(出典：日本赤十字社 「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！
～負のスパイラルを断ち切るために～」)

高校生の皆さんも、重大な危機に直面している社会の一員として、感染症について正しく理解し、感染を拡大させないように予防に努めることが求められています。また、うわさや偏見に惑わされることなく、冷静に行動することも大切なことです。お互いに思いやりの気持ちを持って、この苦難を乗り越えましょう。私たちが戦うべき相手は人ではなく、新型コロナウイルスなのです。ここ愛媛から、そんな思いを発信している人がいます。

Citrus Ribbon PROJECT (シトラスリボンプロジェクト)



シトラスリボンプロジェクトは、4月に愛媛県松山市の市民グループ「ちょびっと19+」が始めた運動です。このグループはCOVID19(新型コロナウイルス)がもたらす災禍の中で「少しでも+ (プラス) を生み出せたら」と願い、発足されました。様々な職業の人々が、ほんの「ちょびっと」だけでもできることはないか模索しています。シトラスリボンプロジェクトを通して、柑橘の色をイメージしたリボンのマークをシンボルにし、新型コロナウイルス感染症患者や医療従事者への差別反対を訴えています。

(出典：シトラスリボンプロジェクト リーフレット)